

採用担当者に伝えたい
大学窓口へのヒアリング結果

INTRODUCTION

新卒採用を行う、多くの企業が苦戦している「母集団の形成」。

「地域大学とのつながり」は、この悩みを解決する一端を担っています。

また近年、大学教授や研究室、OB・OGからの紹介などによって、学生と接点を持つ機会が増え、母集団の形成につながっている企業も少なくないかと思います。

そのような状況下で、大学の就職支援課・キャリアセンター（以下キャリアセンター）とのつながりは、企業から最もアクセスしやすく、優秀な学生にアプローチできる機会を生むことができます。

今後も、そもそも学生に会えない、接点が生み出せないという状況が続くことが予想されるなか、キャリアセンターとのつながりを見直すことで、新たな採用ルートが開けるのではないのでしょうか。

本資料では、地方3大学のキャリアセンターへのヒアリングをもとに、就職支援活動の実態や学生の声について、また、新型コロナウイルスの流行によって刻々と変化している就職活動の動向についてご紹介いたします。



1. ヒアリングの概要



2. キャリアセンターの活動と現状

2-1 キャリアセンターの活動

2-2 キャリアセンターが求める情報

2-3 学生の就職観



3. 新型コロナウイルス流行に伴う変化

3-1 就職のオンライン化に対する学生の意識

3-2 キャリアセンターの対応

3-3 キャリアセンターの今後の対応について



4. 総括

1. ヒアリングの概要

2020年5月から6月にかけて地方3大学のキャリアセンターにヒアリングを実施。実際に就職支援を行っている大学窓口の担当者から、就職活動に関する最新の情報や学生の実態等についてヒアリング。

2. キャリアセンターの活動と現状

2-1 キャリアセンターの活動

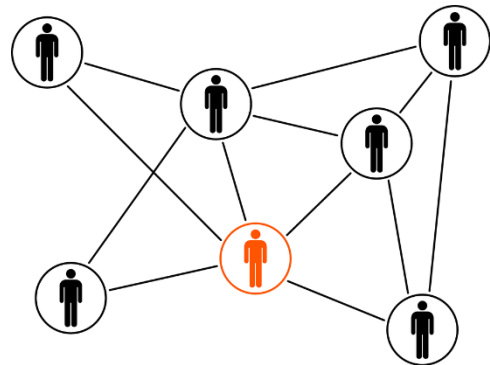
キャリアセンターは学生の就職支援を目的に様々な活動を行う大学の機関です。

キャリアセンターの活動は大きく分けて以下の3つに分類されます。

① 学生と企業の接点づくり

- ・ 大学主催の合同企業説明会の運営
- ・ インターンシップの告知と紹介
- ・ 在学生へのOB・OG紹介
- ・ 企業からの求人票受付と紹介
- ・ 希望職種の会社案内等资料配布

etc....



② 学生の就職活動に対する意識の向上

- ・ 就活セミナーやガイダンス等での情報発信
- ・ キャリア教育を推進する授業の実施
- ・ インターンシップ参加の推進
- ・ 在学生の保護者に向けた就職説明会の開催

etc....

③ 学生からの個別相談への対応と指導

- ・進路に関する悩み相談
- ・エントリーシートの添削や面接指導

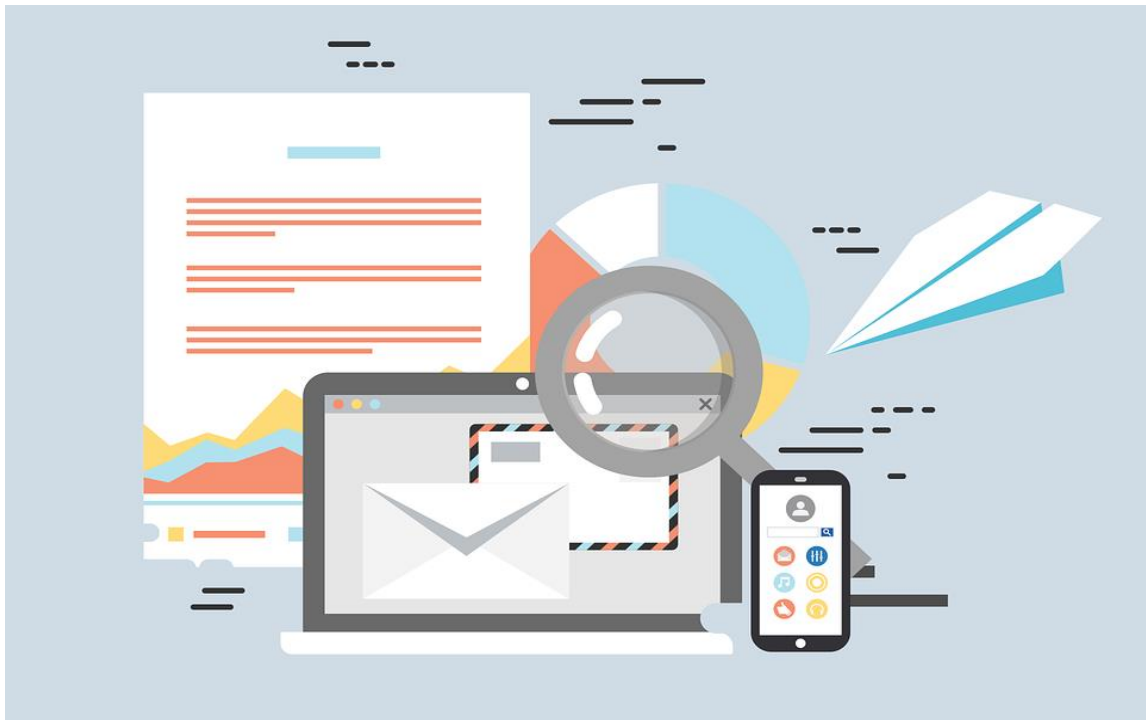
etc....



キャリアセンターの活動は、基本的に窓口相談へ来た学生に対して、指導や情報提供支援を行う個別相談を中心としています。そのため早い段階からキャリアセンターとつながっている学生は自発的に相談に来ている“就業意識の高い学生”と言えます。

2-2 キャリアセンターが求める情報

キャリアセンターは、就職支援として学生の希望に合う企業情報の提供や、企業から持ち込まれた会社案内や求人票の紹介をしています。また近年では、特に以下の2点の情報が、学生から求められることが多いと判明しました。



①OB・OGに関する情報

学生にとって、「どんな人が働いているか」「どんな風に働いているか」は就職するうえで重要な判断材料になっています。そのため、OB・OG訪問はその企業で働く人の生の声を聴ける重要な機会です。その他、学生側にはネットで収集できない業界・業種の情報を知りたい、といった意図もあるようです。

しかし、学生が直接企業へ連絡してOB・OG訪問を行うのは心理的ハードルが高いため、キャリアセンターが窓口となり企業と学生をつなげる役割を担っています。

キャリアセンターにOB・OGの情報を共有しておくことで、学生との接点を創出できるのではないのでしょうか。

②インターンシップについての詳細な情報

現在、学生のインターンシップへの参加意識は年々高まっています。それは、マイナビ（株）の調査結果として、2020 年卒の学生の 8 割がインターンに参加したことがあると回答していることからもうかがえます。

また大学としては、インターンの参加によって単位の出る授業を設置したり、1 年次の学内行事としてインターンの参加を推進したりしています。

そのため、キャリアセンターでは企業から寄せられたインターンの情報を学生へ紹介しています。しかし、学生からはインターンの内容について、もっと詳細な情報が聞きたいと要望が出ているようです。

具体的にはインターンの内容や、参加することで得られる経験、タイムテーブル等の詳細な情報が挙げられます。

これらの情報が学生に必要とされる背景には、インターンへの参加が一般化したことが考えられます。また、社内の案内を受けるだけの「会社見学」と、「インターン」は明確に区分されつつあります。

学生は、インターンの参加によって「仕事へのさらなる理解」だけではなく、「成長や経験」も期待しているという声もあります。

そこで、インターンを開催する企業は「インターンへの参加によって、こういった価値を学生が得られるか」という情報を明確に伝えることが求められています。

2-3 学生の就職観

学生がこういった情報を参考に就職先を決めているかについて、キャリアセンターへヒアリングしたところ、以下の3点が主だっていると回答をいただきました。

- ・ 休日
- ・ 給料
- ・ 転勤の有無



この中で、特に学生が重視している項目は「休日」です。これは、「福利厚生」や「ワークライフバランス」への関心の高まりを反映していると考えられます。全国的に「働き方改革」が話題となっている今、学生の企業を見る視点として、「働き方」が重要視されているということをヒアリングからも改めて確認できました。

また、このような学生の就職観を認知することによって、一人でも多くの学生に対して企業の持つ多くの魅力をより発信していけると考えられます。

さらに、キャリアセンターが相談に来た企業の担当者へ年間休日を増やすことを提案しており、その声掛けを踏まえ、より良い採用活動のために実際に年間休日数を増やした企業もあるとのことでした。

3. 新型コロナウイルス流行に伴う変化

2019 年末からの全世界的な新型コロナウイルスの流行によって、キャリアセンターにも柔軟な対応が求められてきました。また、このような状況下において、21 年卒の学生の就職活動も大きく変化しています。本項では、ヒアリング先である現場の最新情報をご紹介します。

3-1 就活のオンライン化に対する学生の意識

新型コロナウイルスの流行に伴い、学生たちの就職活動の形にも変化が起きています。

中でも特に注目したいのは、就職活動の急速なオンライン化です。「オンラインでの就職活動」に対して、学生は最初こそ不慣れな部分や不安があったものの、現状は問題なく活用している人が多いとのことでした。



また、ヒアリングの中で「学生の就職活動がオンライン化している」ことを象徴するエピソードをお聞きすることもできました。

売り手市場であることやネット検索によって就活の情報が得られることから、大学で開催する就活ガイダンスへの参加者は年々減少していました。しかし今年度、三密を防ぐためガイダンスを動画形式でオンライン配信したところ、例年よりも参加者が増えたというものです。

こうした結果に対して、キャリアセンターは「オンライン上で情報を得る方が手軽だと学生が気づき、しっかりに対応しているためではないか」と推測していました。

さらに『就活白書 2020』の調査では、7 割を超える学生が就活にかかる費用や労力の大きさを感じているというデータがあります。就職活動での交通費については、全国平均は 4 万 9467 円、「中国・四国地方」に至っては 7 万 990 円というように、学生にとって大きな負担となっています。

これらの状況を踏まえ、オンラインコンテンツを活用した就職活動は、こうした負担を削減するため、今後も広がっていくと考えられます。

職場の雰囲気や同僚の人柄など、対面でしか分からない部分ではありますが、その他の情報については、オンラインでの活動が主流になっていくのではないのでしょうか。企業側もオンラインでの情報発信に、力を入れていくことが重要となりそうです。

3-2 キャリアセンターの対応

以前から、キャリアセンターは 2-1 で述べたような多岐に渡る支援をしてきました。

しかし、新型コロナウイルスの流行によって対面での就職支援ができないため、今年度は以下のようなオンラインを活用した就職支援を新規に行っています。

- ・マイナビやキャリアス等の大手就活サイトの配信ツールを用いた
学生への就活に関する情報発信
- ・Skype を活用した面談練習や就活相談
- ・会社案内動画や先輩社員紹介の動画の紹介



3-3 キャリアセンターの今後の対応について

オンラインを活用した面談等は継続しつつ、「オンラインでの学内合同説明会の開催」など、新たな取り組みも検討しているとのことでした。

一方、複数企業とのオンラインを活用した連携について、開催に至るまでには課題があるものの、企業との協力は必要不可欠だと回答されました。



また、今後も対面での学生への支援が制限されることが予想されるため、採用動画や企業のオフィシャルサイトの採用専用ページなど、オンライン上で共有できるコンテンツについて、情報を募集しているとのことでした。

4. 総括

今回のヒアリングでは、キャリアセンターが行っている活動や学生の現状について、現場の生の声を聴くことができました。

新型コロナウイルスの影響もあり採用市場は大きく揺れ動いていますが、キャリアセンターとの連携やオンライン化への対応等を見直すことで、対策ができるのではないのでしょうか。

本資料が御社のより良い採用活動の一助になれば幸いです。

最後までご覧いただきありがとうございました。

青葉印刷について

当社は、以下のような採用に関するメディア制作を通じて、御社の魅力や情熱を求職者の皆さまにお届けし、採用における成果の創出をお手伝いいたします。



採用ツールの制作実績はこちらから

<https://www.aoba-m.co.jp/communication/recruiting/>

青葉印刷についての詳しい情報ははこちらから

<https://www.aoba-m.co.jp/>

